

原市場聖書教会

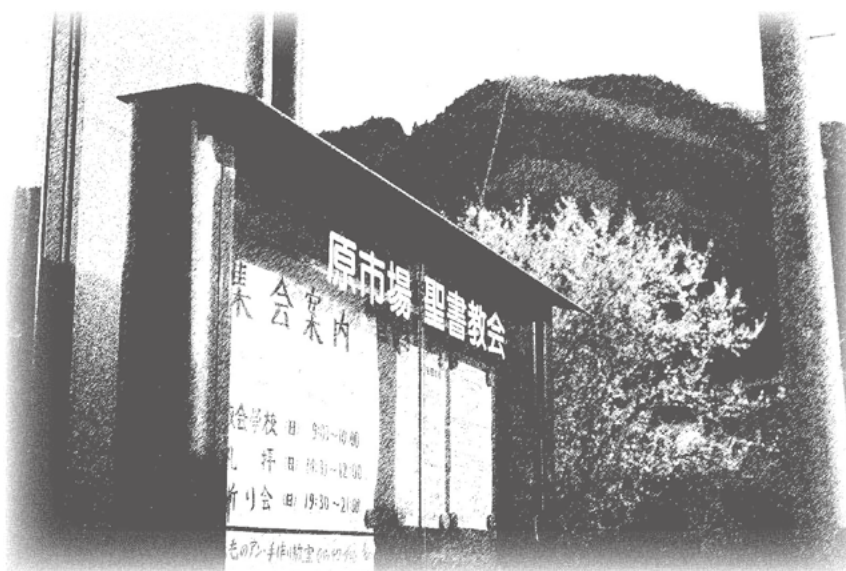
NO. 809

週 報

年間聖句

**だからこそ、あなたがたはあらゆる熱意を傾けて、
信仰には徳を、徳には知識を、
知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、
敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。**

第二ペテロ 1章 5～7節



2020. 8. 9

主日礼拝

2020年 8月 9日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 受付：勝山幸子姉
パワーポイント：本多悟兄 感謝の祈り：本多祐子姉

賛	美	「君は愛されるため生まれた」	—	同
祈	り		司 会 者	
今月の賛美		「満たしてくださる方」	—	同
使徒信条			—	同
主の祈り			—	同
賛	美	賛美歌312番「慈しみ深き」	—	同
献	金		—	同
感謝の祈り			本多祐子姉	
賛	美	聖歌402番「おかにたてるあられずりの」	—	同
聖書朗読		第二コリント5章1節～21節	司 会 者	
説	教	「すべてが新しくなった」	若村和仁師	
黙	禱		—	同
賛	美	聖歌392番「神はひとり子を」	—	同
救いの証し			森山優美姉	
賛	美	「小さな祈り」	—	同
洗礼式		入間川へ移動します	若村和仁師	
頌	栄	聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	—	同
祝	禱		若村和仁師	
後	奏		奏 楽 者	
報	告		司 会 者	

●コロナウィルス感染が落ち着くまで
昼食会はお休みいたします。



「すべてが新しくなった」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

第二コリント5章12節～21節

12, 私たちは、またしてもあなたがたに自分を推薦しているのではありません。むしろ、あなたがたに私たちのことを誇る機会を与え、心ではなくうわべを誇る人たちに応じられるようにしたいのです。

13, 私たちが正気でないとすれば、それは神のためであり、正気であるとすれば、それはあなたがたのためです。

14, というのは、キリストの愛が私たちを捕らえているからです。私たちはこう考えました。一人の人がすべての人のために死んだ以上、すべての人が死んだのである、と。

15, キリストはすべての人のために死なれました。それは、生きている人々が、もはや自分のためにではなく、自分のために死んでよみがえった方のために生きるためです。

16, ですから、私たちは今後、肉にしたがって人を知ろうとはしません。かつては肉にしたがってキリストを知っていたとしても、今はもうそのような知り方はしません。

17, ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

18, これらのことはすべて、神から出ています。神は、キリストによって私たちをご自分と和解させ、また、和解の務めを私たちに与えてくださいました。

19, すなわち、神はキリストにあって、この世をご自分と和解させ、背きの責任を人々に負わせず、和解のことばを私たちに委ねられました。

20, こういうわけで、神が私たちを通して勧めておられるのですから、私たちはキリストに代わる使節なのです。私たちはキリストに代わって願います。神と和解させていただきなさい。

21, 神は、罪を知らない方を私たちのために罪とされました。それは、私たちがこの方において神の義となるためです。

今月の賛美

満たして下さる方

(ヨハネ8:35)

F Dm7 Bb Am7 Gm7

主よわたしは — — — う えかわ — いて — いま — こ — こ — に — 来 — ま

Bb/C C F Dm7

した — — 主よ あな — た — に — — — りよ う 手あ — げ — て — — こ

Bb Am7 Gm7 Bb/C C F F/E Dm7 Dm7/C

ころか — ら あがめま — す 主よ あな — た — だ — け が わ

Bb F/A Gm7 Csus4 C F F/E

たしを — み た し て — く だ さ る — か た — — — 主よ あな — た — だ — け

F/D F/C Gm7 Bb/C F

に さ — ん び の う た — を — さ さ げ — ま す

使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人の内よりよみがえり、
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。
かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、
聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。
アーメン

主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ
われらを試みにあわせず 悪より救いいたしたまえ
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり
アーメン

メッセージ要約

本日は洗礼式が執り行われます。この機会に、もう一度洗礼式というものは、どういうものだったのかを考えなおし、洗礼とは信仰が完成したというゴールではなく、スタートであることをもう一度覚えたいと思います。どのようにして、罪の中にあるものが「すべてが新しくなった」と言ってもらえるようになったのかを確認したいと思います。

1、人はうわべだけを良く見せる弱さがある。(またうわべだけを見る弱さもある)

人間は、どうしても、うわべだけを良く見せようとする弱さがあります。とりあえず必死になって誇れる状態でない心の内側を覆い隠すために、うわべだけを誇ることに一生懸命になってしまう傾向があるのです。しかし、それでは心の内側は、一向に変わらないのです。それどころか、他者を傷つけることへとつながっていくのです。この聖書の時代でも、人間の本质は変わらず、コリントの教会では、外側だけを立派にふるまい誇り、心の自分の罪に関しては隠しごまかし、隣人の罪に関しては、厳しく裁くという問題が起こっていたのです。

本日の前節である11節には「創造主なる神様を恐れること」が大切であると、書かれてあります。ここで、パウロたちがコリントの人々に伝えなかったことは、互いに人ばかりを意識して、信仰の外側ばかりを装い、人と比べてばかりいる人々に対し、神様の喜ばれる信仰の姿は装うことではなく、心の内側の悔い改めであることを伝えなかったのです。そのためには、最終的にお裁きになられる創造主なる神様を知り、人よりも、神を恐れなければならないと語っています。

私たち人間は、信仰面でも、古い自分を捨てることができず、自分の罪と欲を抱えたまま、その表面を必死に変えようとしてしまいがちです。しかし、そのような見せかけの信仰は長続きしないのです。長続きし、本来の美しさを出すためには、内側が変わらなければ外側は変わってこないものなのです。この当時の教会もその問題と直面していたのです。そこで、パウロたちは心を主イエスキリストの愛によって満たし変えていただきなさいと伝え続けるのです。

2、人間のかたくなな心を砕き救うためにイエスキリストは死んでよみがえられた。

このようなことをお出来になる方は、救い主であるイエス様です。人間にはできないことです。人の罪の為に、身代わりとなることができる人はどこを探してもいないはずで、人間界のルールでは、罪を犯した人には、しっかりと刑罰を受けてもらい、罪を償うことが当然のルールです。これはとても大切なことです。人を傷つけるということは、傷つけられた人はどれだけ苦しい思い悲しい思いを経験したかを、味わい悔い改めることが必要だからです。しかし、人間の罪の問題は根深いのです。実際に刑務所に入った人の再犯率を見るだけでも、驚かされる数字の高さです。2016年度の初犯者は、12万4411人。再犯者は11万4944人だったと言います。再犯者の占める割合は48パーセントです。日本全体の再犯罪者数は2006年をピークに減り始めているそうですがとはいっても、まだまだ多いのが現実です。このように日本の再犯率を見ても、割合が高いのです。しかし、ここにいる私たちは、刑務所に入るような犯罪は犯していないかもしれませんが、だからと言って関係はない話ではないのです。私たちは、小さな罪を日々たくさん犯します。しかし、もうやめようともう失敗しないようにしよう。と心で決めても、失敗してしまうのが人間の弱さです。人間の心は本当に欲に対して勝利することはとても難しいことです。そのことを一番にご存じなのが神様なのです。だからこそ、その弱さを隠し、うわべだけを装うことには何の解決もないのです。ただただ、負の連鎖が起こるだけなのです。ただただ愛のない厳しさや刑罰だけでは、人の心は本当に変わることは難しいのです。そのもっと根底にある心の傷に神様の愛が届かなければ人は変わることができないのです。そのことを忘れてはならないのです。その心の根底に神の愛を伝えるために、神ご自身が人間に寄り添って下さり、その罪をすべて背負い十字架にかかって下さったのです。そのお方がイエスキリストなのです。

★キリストの愛こそが私たちをとらえ、罪なき人の十字架の身代わりの死こそが、すべての人を本当の悔い改めに導くのです。

3、キリストの愛こそが人を新しく造り変え続ける。

ここで大切なことは、キリストの愛こそが人を造り変える。ということです。

神様との関係を回復（和解）こそが、外側ばかりを変えることではなく、大切なことなのです。神様との関係を和解し、神様との関係がキリストの愛を受け入れることによって回復させられてこそ、私たちは、ゆっくり愛された者として、隣人を愛する者へと変えられていくのです。

●まとめ

★「すべてが新しくなるためには？」

- 1、キリストは私の罪の為に死んでくださったことを心に受け入れる。
- 2、キリストの愛の中にとどまり続ける。古い自分にとどまり続けない。
- 3、キリストの内に私たちがとどまるなら、すべては新しくなり続ける。

報 告

- ★聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。
- ☆体調不良の方は、礼拝出席を無理せず zoom にて礼拝を中継いたしますのでご利用ください。また、礼拝堂に入られる時には、手の消毒をよろしくお願いいたします。
- ☆ここ最近感染拡大が心配されます。礼拝中の賛美ですが、番数を減らし礼拝をお捧げしたいと思います。ご理解ご協力お願いいたします。
- ★8月以降の予定
昼食は8月中もお休みいたします。zoomでの礼拝中継はしばらく継続する予定です。
- ★礼拝以外の集会再開予定
・赤毛のアンは9月から再開予定です。その他の集会は7月より平常通り行っています。
- ★夏期特別献金の封筒をご用意いたしました。祈り心をもってお献げくだされば感謝です。
- ★本日は、森山優美姉なるみの洗礼式を行います。
- ★次週は本多翔兄と森山優美姉の婚約式を礼拝の中で執り行います。お祈りください。

8月の誕生日

8月3日 本多悟兄 8月8日 若村真理歌ちゃん 8月25日 本多祐子姉

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

- ・8月10日～15日（月～土） この週は外部奉仕はありません。

本日午後の予定

☆礼拝後昼食会はありませんが自家焙煎珈琲をご用意しています。
お自由にお交わり下さい。

次週（8月16日〈日〉）

司 会：本多崇兄 婚約式司式：若村和仁師 婚約者：本多翔兄 森山優美姉
聖 書：ローマ14章1節～12節
説 教：「私たちは主のもの」若村和仁師
奏 楽：本多こずえ姉
讃 美：「小さな祈り」 今月の賛美「満たしてくださる方」
聖歌428、聖歌592、聖歌484、「イエスが愛したように」、聖歌383
受 付：本多節子姉 献金感謝祈祷：勝山幸子姉

先週の各集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
8月2日（日）	教会学校ハレルヤキッズ	3人			3人
	礼 拝	3人	7人	13人	23人
		(礼拝はオンライン参加者2名を含む)			
	夕 礼 拝		お休みでした。		
8月5日（水）	祈 り 会		おやすみでした。		

集会案内

8月12日（水） 祈 り 会 お休みです。
8月16日（日） ハレルヤキッズ 9:30～10:15
礼 拝 10:30～12:00

頌 栄

聖歌383

「ちち・みこ・みたまの」

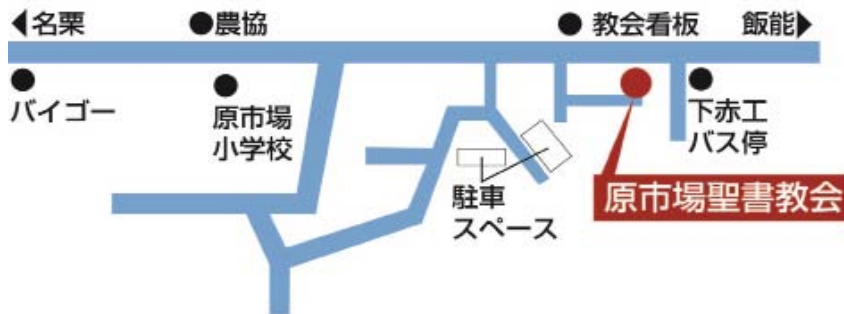
To Father, Son, and Holy Ghost
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE
THOMAS HASTINGS, 1837

♩ ややはやく ♩ = 104

ちち・みこ・みたまのおおみかみに - とこしえか

わらずみさかえあれ - みさかえあれ - アーメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール hibawaka@aol.com

■ 集会案内 ■

主日礼拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッズ	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈り会	水曜	10:30-12:00
赤毛のソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッズスペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL:042-977-0254

FAX:042-981-7200

牧師:若村和仁